

2013年度 第1四半期決算説明資料

出光興産株式会社
2013年8月6日

1. 2013年度第1四半期決算

(1) 概要

(2) セグメント別情報

2. 2013年度業績予想

(1) 概要

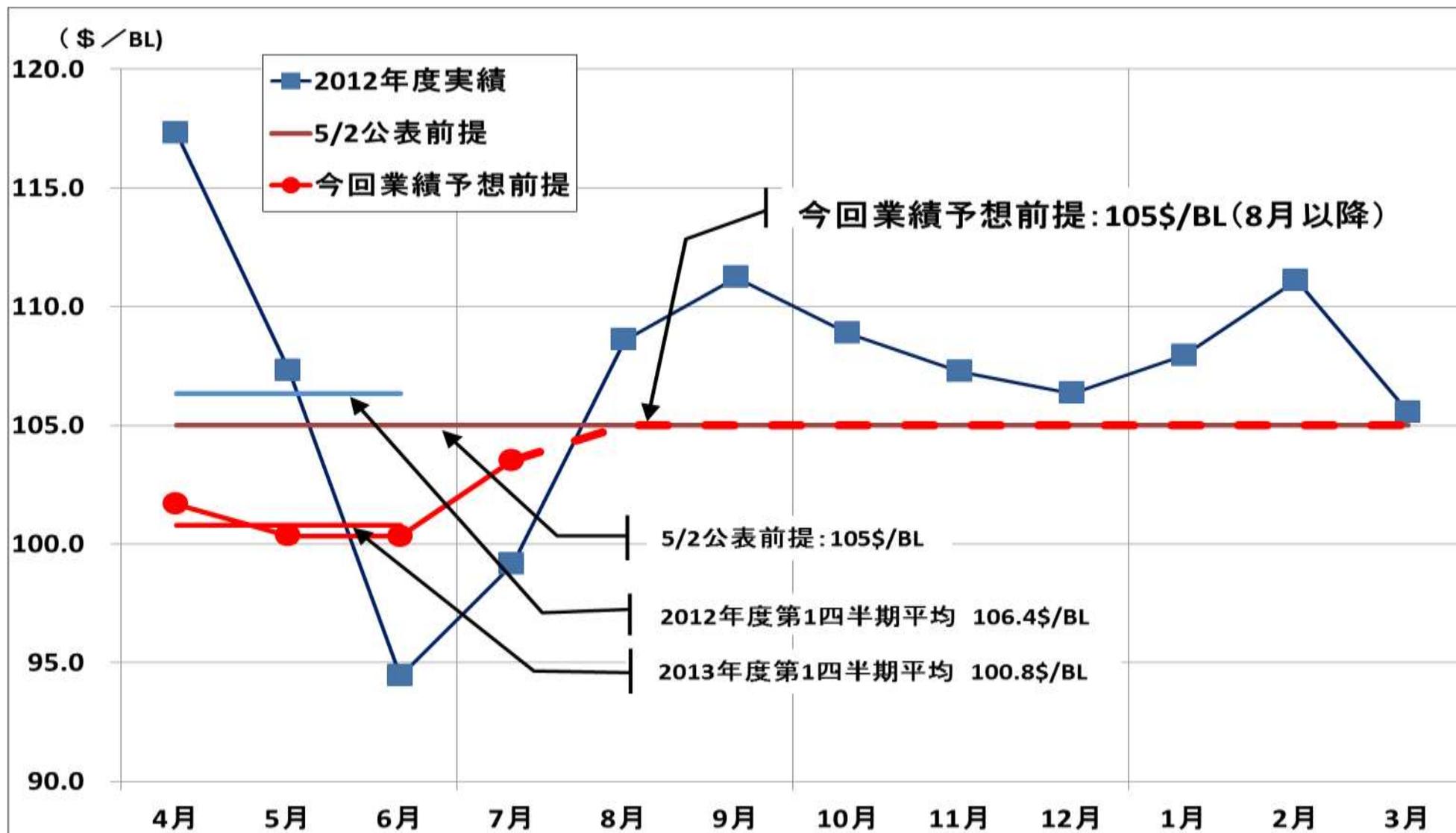
(2) セグメント別情報

(3) 合理化の状況

3. 参考資料

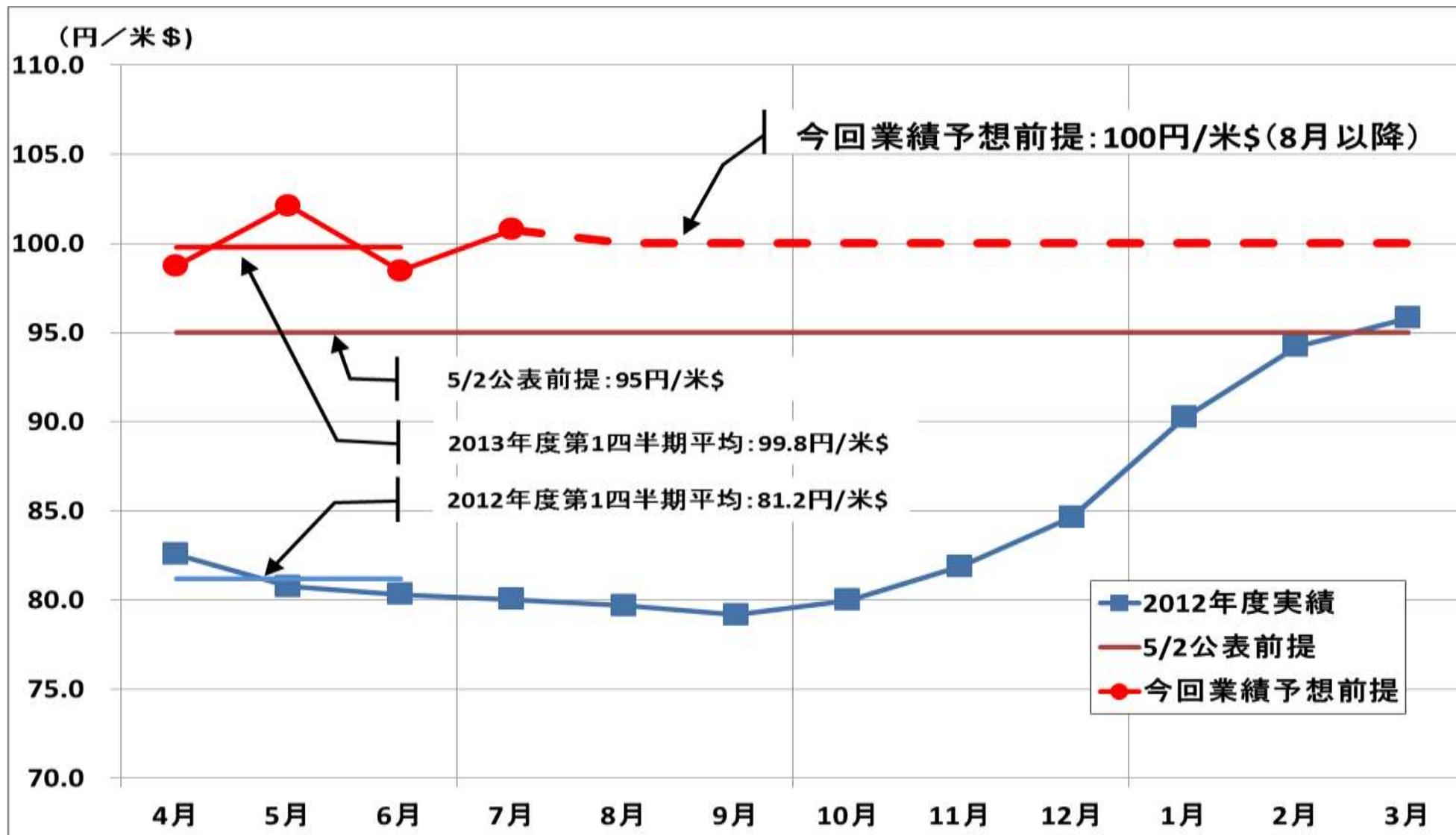
原油価格の推移

【ドバイ原油価格の月次推移と業績予想前提水準】



円／米\$為替レート(TTS)の推移

【円／米\$為替レート(TTS)の月次推移と業績予想前提水準】



【2013年度第1四半期決算】

- 為替の円安進行等から、在庫評価影響は112億円(前年同期比+127億円)と増加した。
- 石油製品マージン縮小や資源セグメントの減益に対し、在庫評価影響の増・石油化学製品マージン改善による増益が上回り、営業利益は136億円(前年同期比+50億円)となった。
- 豪州石炭事業に関する保険金収入もあり、当期純利益は226億円(前年同期比+229億円)となった。

【2013年度業績予想】

- 石油製品マージン縮小他による減益を、為替前提を前回公表時の95円/\$から100円/\$へ見直すことによる在庫評価影響の増や石油化学製品マージン改善他の増益が相殺すると見込む。
- セグメント毎の増減を見込むが、2013年度業績予想は前回公表と同じ営業利益790億円、当期純利益510億円と見込む。

1. 2013年度第1四半期決算

(1) 概要

① 原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増減	
原油価格(トバイ)	106.4	100.8	▲5.6	▲5.2%
原油価格(フレント)	118.5	112.6	▲5.9	▲5.0%
ナフサ価格(通関)	1,049	927	▲122	▲11.6%
為替レート(TTS)	81.2	99.8	+18.6	+22.9%

※フレント価格は暦年(1~3月)の平均価格。

② 連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増減	
売上高	10,567	11,062	+494	+4.7%
営業利益	87	136	+50	+57.5%
(在庫影響)	(▲14)	(112)	(+127)	—
(在庫影響除き)	(101)	(24)	(▲77)	(▲76.2%)
営業外損益	3	25	+22	+812.8%
経常利益	89	161	+72	+80.5%
特別損益	▲4	206	+209	—
当期純利益	▲3	226	+229	—

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用しています。

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含みます。

※数字は億円未満を四捨五入で表示

(2)セグメント別情報

①営業利益

(単位：億円)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増 減	
石油製品 (在庫影響除き)	▲50 (▲28)	41 (▲65)	+91 (▲37)	— —
石油化学製品 (在庫影響除き)	17 (10)	99 (93)	+82 (+83)	+480.4% (+847.5%)
資 源 (石油開発)	134 (120)	15 (40)	▲118 (▲80)	▲88.4% (▲66.8%)
(石炭他)	(14)	(▲24)	(▲38)	—
そ の 他	1	▲2	▲3	—
調 整 額	▲15	▲18	▲3	—
合 計 (在庫影響除き)	87 (101)	136 (24)	+50 (▲77)	+57.5% (▲76.2%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

(2)セグメント別情報

②営業利益の増減分析(前年同期比)

(単位:億円)

石油製品 **+91**

製品マージン縮小他	▲ 40	精製用燃料費、合理化	+ 3
在庫影響	+ 128		

石油化学製品 **+82**

製品マージン拡大他	+ 63	製造用燃料費・タイムラグ他	+ 19
-----------	------	---------------	------

石油開発 **▲80**

数量・価格要因	▲ 86	探鉱費・為替要因	+ 6
---------	------	----------	-----

石炭他・その他 **▲44**

価格要因	▲ 53	為替要因	▲ 6
コスト要因他	+ 15		

2. 2013年度業績予想

(1) 概要

① 原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	5/2公表	今回見通し	増減	
原油価格(トバイ)	105.0	103.9	▲1.1	▲1.0%
原油価格(ブレント)	108.0	109.1	1.1	1.0%
ナフサ価格(通関)	918	920	+2	+0.2%
為替レート(TTS)	95.0	99.9	+4.9	+5.2%

8月以降前提
105.0
108.0
918
100.0

※ブレント価格は暦年(1~12月)の平均価格。

② 連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	5/2公表	今回見通し	増減	
売上高	45,500	49,000	+3,500	+7.7%
営業利益	790	790	0	0.0%
(在庫影響)	(130)	(230)	(+100)	(+76.9%)
(在庫影響除き)	(660)	(560)	(▲100)	(▲15.2%)
営業外損益	▲55	▲10	+45	—
経常利益	735	780	+45	+6.1%
特別損益	165	165	0	0.0%
当期純利益	510	510	0	0.0%

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用しています。

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含みます。

※数字は億円未満を四捨五入で表示

(2)セグメント別情報

①営業利益

(単位：億円)

	5/2公表	今回見通し	増 減	
石油製品	590	480	▲110	▲18.6%
(在庫影響除き)	(460)	(250)	(▲210)	(▲45.7%)
石油化学製品	150	220	+70	+46.7%
(在庫影響除き)	(150)	(220)	(+70)	(+46.7%)
資 源	80	120	40	+50.0%
(石油開発)	(135)	(190)	(55)	(40.7%)
(石炭他)	(▲55)	(▲70)	(▲15)	—
そ の 他	20	20	0	0.0%
調 整 額	▲50	▲50	0	—
合 計	790	790	0	0.0%
(在庫影響除き)	(660)	(560)	(▲100)	(▲15.2%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

(2)セグメント別情報

②営業利益の増減分析(前回公表比)

(単位:億円)

石油製品 ▲110

製品マージン縮小他	▲180	精製用燃料費	▲30
在庫影響	+100		

石油化学製品 +70

製品マージン拡大他	+60	製造用燃料費・タイムラグ他	+10
-----------	-----	---------------	-----

石油開発 +55

数量・価格要因	+24	為替要因他	+31
---------	-----	-------	-----

石炭他・その他 ▲15

価格・数量要因	▲38	為替要因	+23
---------	-----	------	-----

(3) 合理化の状況

※2012年度対比の合理化の 目標と実績	2013年度 5/2公表	2013年度 1Q実績	2013年度 見通し	(参考) 2015年度 目標
石油製品 ・設備管理の効率化 ・製油所の省エネ・合理化 ・販売、物流部門の合理化 他	5億円	1億円	5億円	60億円
石油化学製品 ・設備管理の効率化 他	5億円	1億円	5億円	20億円
資源 ・豪州石炭鉱山の効率化 ・石油開発操業の合理化 他	40億円	10億円	40億円	70億円
間接部門コスト ・管理部門等の合理化 他	30億円	7億円	30億円	50億円
合計	80億円	19億円	80億円	200億円

3. 參考資料

1. 決算関連

(1) セグメント別売上高

(2) 特別損益明細

(3) 連結貸借対照表

2. 感応度

3. 販売と生産

(1) 販売・生産数量実績

(2) 販売・生産数量見通し

4. 為替

5. 市況

6. 製油所稼働の状況

7. SS数推移

1. 決算関連

(1)－①2013年度第1四半期セグメント別売上高

(単位：億円)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増 減	
石油製品	8,647	9,182	+535	+6.2%
石油化学製品	1,347	1,490	+143	+10.6%
資 源	494	301	▲193	▲39.0%
（石油開発）	(270)	(136)	(▲134)	(▲49.7%)
（石炭他）	(224)	(165)	(▲59)	(▲26.2%)
その他・調整額	80	89	+9	+11.5%
合 計	10,567	11,062	+494	+4.7%

1. 決算関連

(1)－②2013年度セグメント別売上高見通し

(単位：億円)

	5/2公表	今回見通し	増 減	
石油製品	37,700	40,600	+2,900	+7.7%
石油化学製品	5,500	6,100	+600	+10.9%
資 源	1,800	1,800	0	0.0%
（石油開発）	(800)	(900)	(+100)	(+12.5%)
（石炭他）	(1,000)	(900)	(▲100)	(▲10.0%)
その他・調整額	500	500	0	0.0%
合 計	45,500	49,000	+3,500	+7.7%

1. 決算関連

(2) 特別損益明細

(単位：億円)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増減
固定資産売却益	2	1	▲1
受取保険金	—	209	209
その他	1	0	▲1
特別利益計	3	210	+207
固定資産売却除却損	3	3	▲1
その他	3	1	▲2
特別損失計	7	4	▲2
特別損益	▲4	206	+209

1. 決算関連

(3) 連結貸借対照表

(単位:億円)

	'13/3末	'13/6末	増減		'13/3末	'13/6末	増減
現金・預金	1,168	1,322	+153	買掛債務	4,053	4,338	+285
売掛債権	4,259	4,323	+64	短期借入金等	3,792	4,354	+562
たな卸資産	6,464	6,749	+284	その他流動負債	3,996	3,699	▲298
その他流動資産	1,220	907	▲313	流動負債計	11,841	12,391	+549
				長期借入金等	5,139	5,040	▲99
				その他固定負債	3,425	3,596	+171
流動資産計	13,112	13,301	+188	固定負債計	8,564	8,637	+73
有形固定資産	10,303	10,424	+121	負債合計	20,405	21,027	+622
(土地)	5,960	5,956	▲5	株主資本	5,111	5,289	+177
(その他)	4,343	4,468	+125	その他の包括利益 累計	1,424	1,543	+118
その他固定資産	3,869	4,479	+610	少数株主持分	344	346	+2
固定資産計	14,173	14,903	+731	純資産計	6,879	7,177	+297
総資産計	27,285	28,204	+919	負債・純資産計	27,285	28,204	+919

有利子負債計	8,964	9,426	+462
自己資本比率	24.0%	24.2%	0.3%

2. 感応度

(1) 原油価格1ドル/バレル上昇の年度収支への影響

石油製品	精製用燃料費増加等	▲ 3 億円
	在庫評価影響の増	+ 2 4 億円
	計	+ 2 1 億円
石油開発		+ 6 億円

(2) 為替1円/ドル 円安の年度収支への影響

石油製品	精製用燃料費増加等	▲ 4 億円
	在庫評価影響の増	+ 2 8 億円
	計	+ 2 4 億円
石油開発		—

※上記の他に、資源事業等において、ノルウェークローネ、豪ドル、英ポンド等の為替変動影響を受けます。

3. 販売と生産

(1)－①販売数量実績(燃料油販売:個別)

(単位:千KL、%)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増減	
ガソリン	2,065	2,032	▲33	▲1.6%
(ハイオク)	248	246	▲2	▲0.6%
(レギュラー)	1,817	1,786	▲31	▲1.7%
ナフサ	44	36	▲8	▲18.2%
ジェット燃料	349	392	+43	+12.2%
灯油	398	417	+19	+4.7%
軽油	1,343	1,386	+43	+3.2%
A重油	595	608	+13	+2.2%
C重油	902	744	▲158	▲17.5%
国内燃料油販売計	5,696	5,615	▲81	▲1.4%
輸出燃料油	1,091	1,037	▲54	▲4.9%
(一般輸出)	400	187	▲213	▲53.3%
燃料油販売計	6,787	6,652	▲135	▲2.0%

3. 販売と生産

(1)－②販売数量実績(石油化学製品・個別)

(単位：千t、%)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増減	
石油化学製品計	697	754	+57	+8.2%
(基礎化学品)	680	739	+58	+8.6%
(機能製品計)	17	15	▲1	▲8.3%

(1)－③販売数量実績(潤滑油)

(単位：千KL、%)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増減	
潤滑油	246	252	+6	+2.4%

※海外ライセンス販売先を含む

3. 販売と生産

(1)－④石油開發生産量(ガス含む)

(単位：千BOED)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増減	
ノルウェー	24.3	24.3	+0.1	+0.3%
英国	4.4	2.6	▲1.8	▲40.5%
ベトナム	0.4	0.5	+0.0	+9.2%
生産量合計(千BOED)	29.1	27.4	▲1.7	▲5.8%
生産量合計(千BOE)	2,646	2,469	▲176	▲6.7%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

(1)－⑤石炭生産量

(単位：千t)

	'12年度1Q	'13年度1Q	増減	
エンシャム(85%)	741	733	▲8	▲1.1%
マッセルブルック	317	366	+49	+15.5%
ボガブライ	690	837	+147	+21.3%
タラウオンガ(30%)	121	171	+50	+41.3%
生産量合計	1,869	2,107	+238	+12.7%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および豪州石炭は12月決算

3. 販売と生産

(2) - ①販売数量見通し(燃料油販売:個別)

(単位:千KL、%)

	5/2 公表	今回見通し	増減	
ガソリン	8,540	8,540	0	0.0%
(ハイオク)	1,040	1,040	0	0.0%
(レギュラー)	7,500	7,500	0	0.0%
ナフサ	250	250	0	0.0%
ジェット燃料	1,560	1,580	+20	+1.3%
灯油	3,260	3,280	+20	+0.6%
軽油	5,630	5,700	+70	+1.2%
A重油	2,940	2,960	+20	+0.7%
C重油	3,440	3,430	▲10	▲0.3%
国内燃料油販売計	25,620	25,740	+120	+0.5%
輸出燃料油	4,360	4,200	▲160	▲3.7%
(一般輸出)	1,300	1,120	▲180	▲13.8%
燃料油販売計	29,980	29,940	▲40	▲0.1%

3. 販売と生産

(2)－②販売数量見通し(石油化学製品・個別)

(単位：千t、%)

	5/2 公表	今回見通し	増減	
石油化学製品計	3,230	3,270	+40	+1.2%
(基礎化学品)	3,160	3,210	+50	+1.6%
(機能製品計)	70	60	▲10	▲14.3%

(2)－③販売数量見通し(潤滑油)

(単位：千KL、%)

	5/2 公表	今回見通し	増減	
潤滑油	1,080	1,080	0	0.0%

※海外ライセンス販売先を含む

3. 販売と生産

(2)－④石油開発生産量見通し(ガス含む)

(単位：千BOED、%)

	5/2 公表	今回見通し	増減	
ノルウェー	21.0	22.4	+1.4	+6.4%
英国	3.2	2.6	▲0.6	▲17.8%
ベトナム	0.4	0.4	▲0.0	▲2.7%
生産量合計 (千BOED)	24.6	25.4	+0.8	+3.2%
生産量合計 (千BOE)	8,980	9,270	+290	+3.2%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

(2)－⑤石炭生産量見通し

(単位：千t、%)

	5/2 公表	今回見通し	増減	
エンシャム(85%)	4,120	4,030	▲90	▲2.2%
マッセルブルック	1,260	1,320	+60	+4.8%
ボガブライ	5,010	4,390	▲620	▲12.4%
タラウォンガ(30%)	590	630	+40	+6.8%
生産量合計	10,980	10,370	▲610	▲5.6%

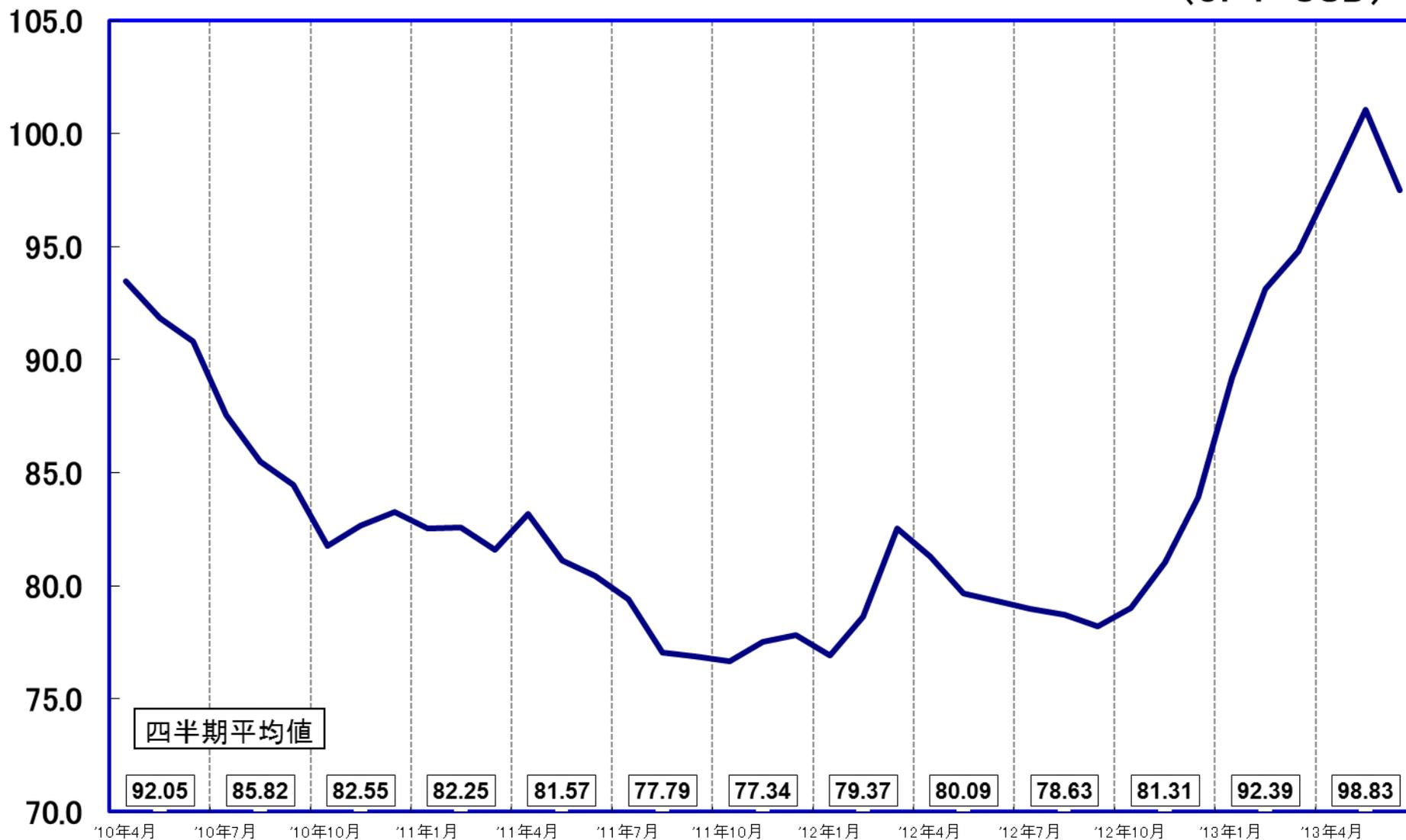
※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および豪州石炭は12月決算

4. 為替

(1)米ドル

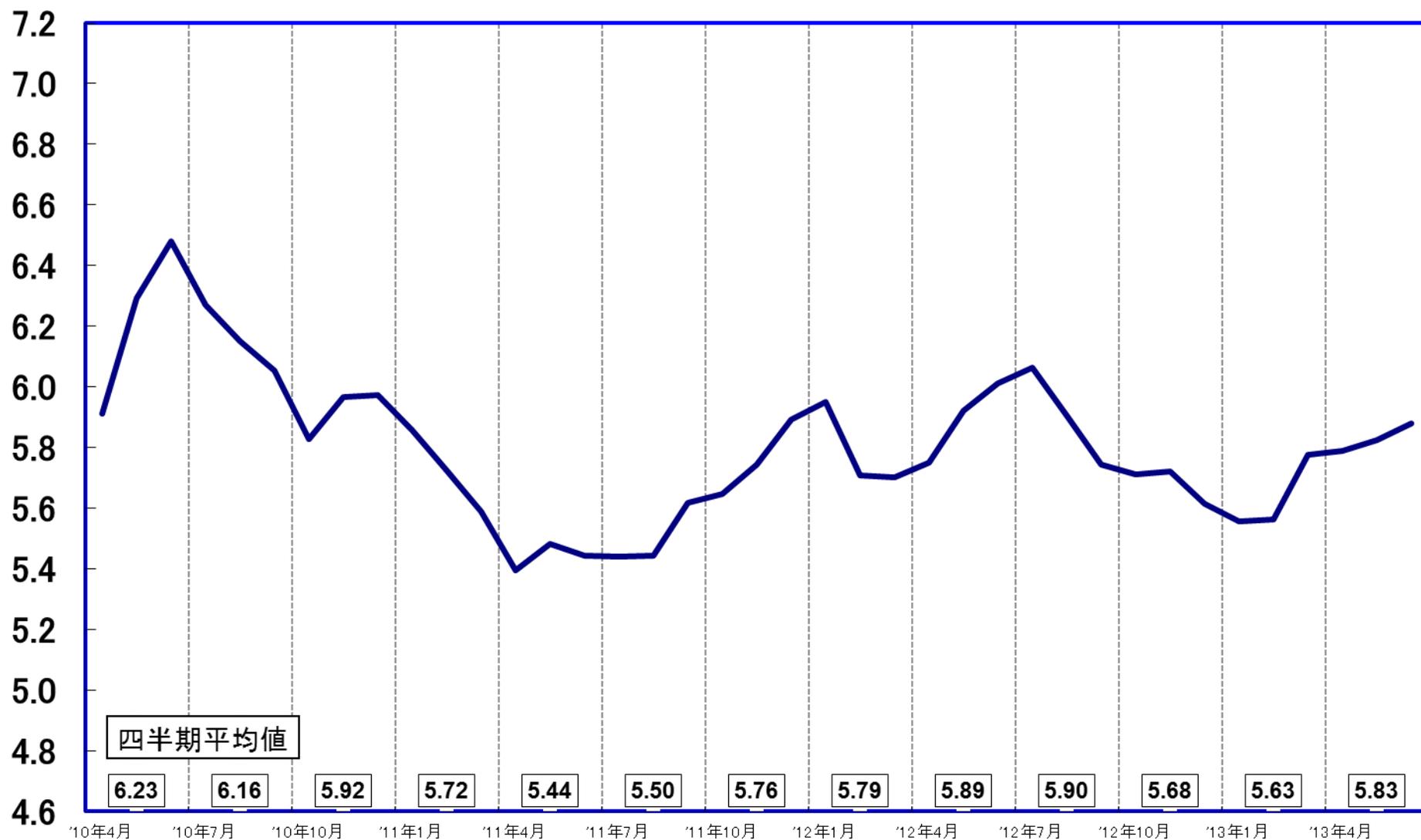
(JPY・USD)



4. 為替

(2) ノルウェークロネ

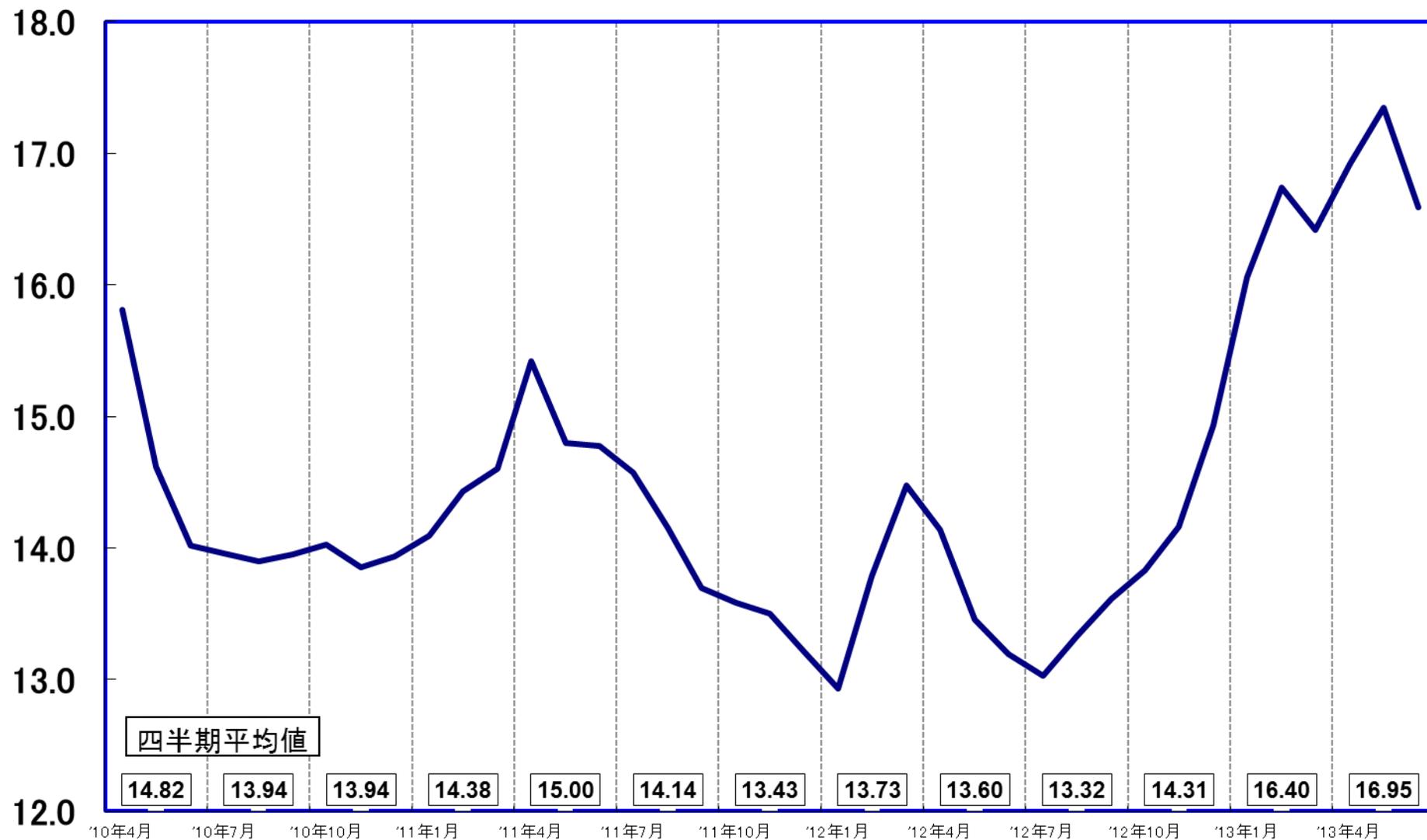
(NOK・USD)



4. 為替

(3) ノルウェークロネ

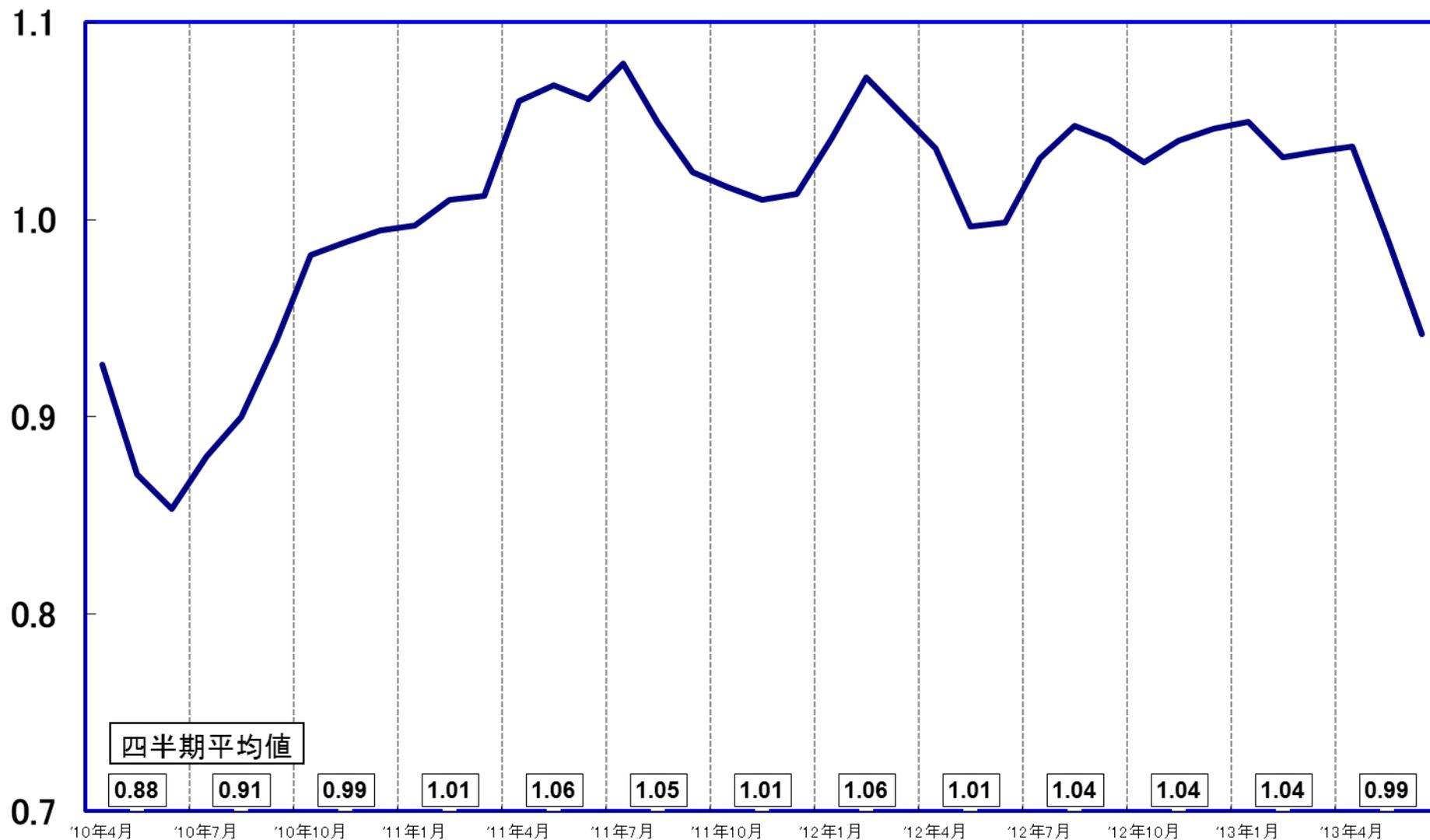
(JPY・NOK)



4. 為替

(4) オーストラリアドル

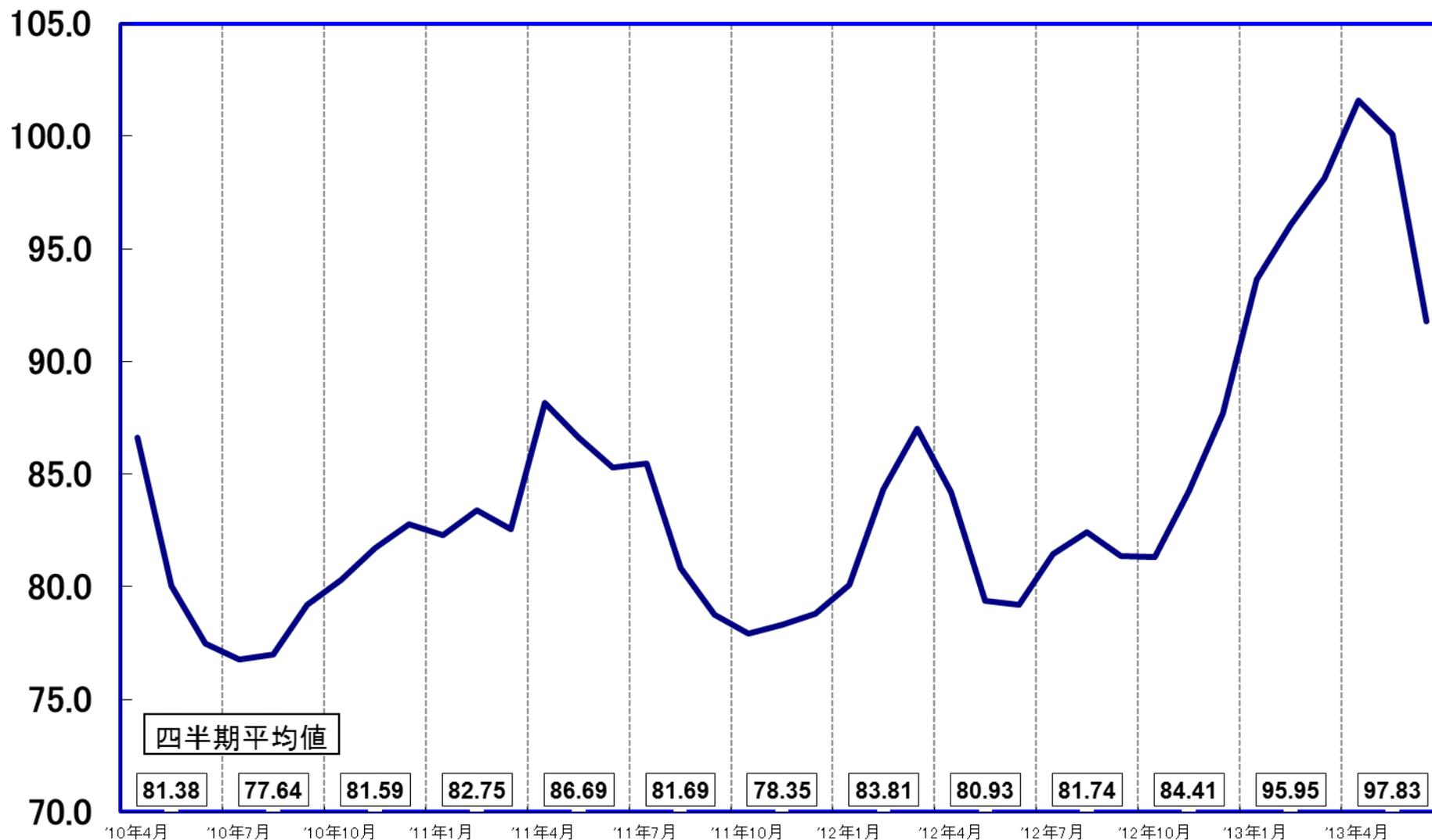
(USD・AUD)



4. 為替

(5) オーストラリアドル

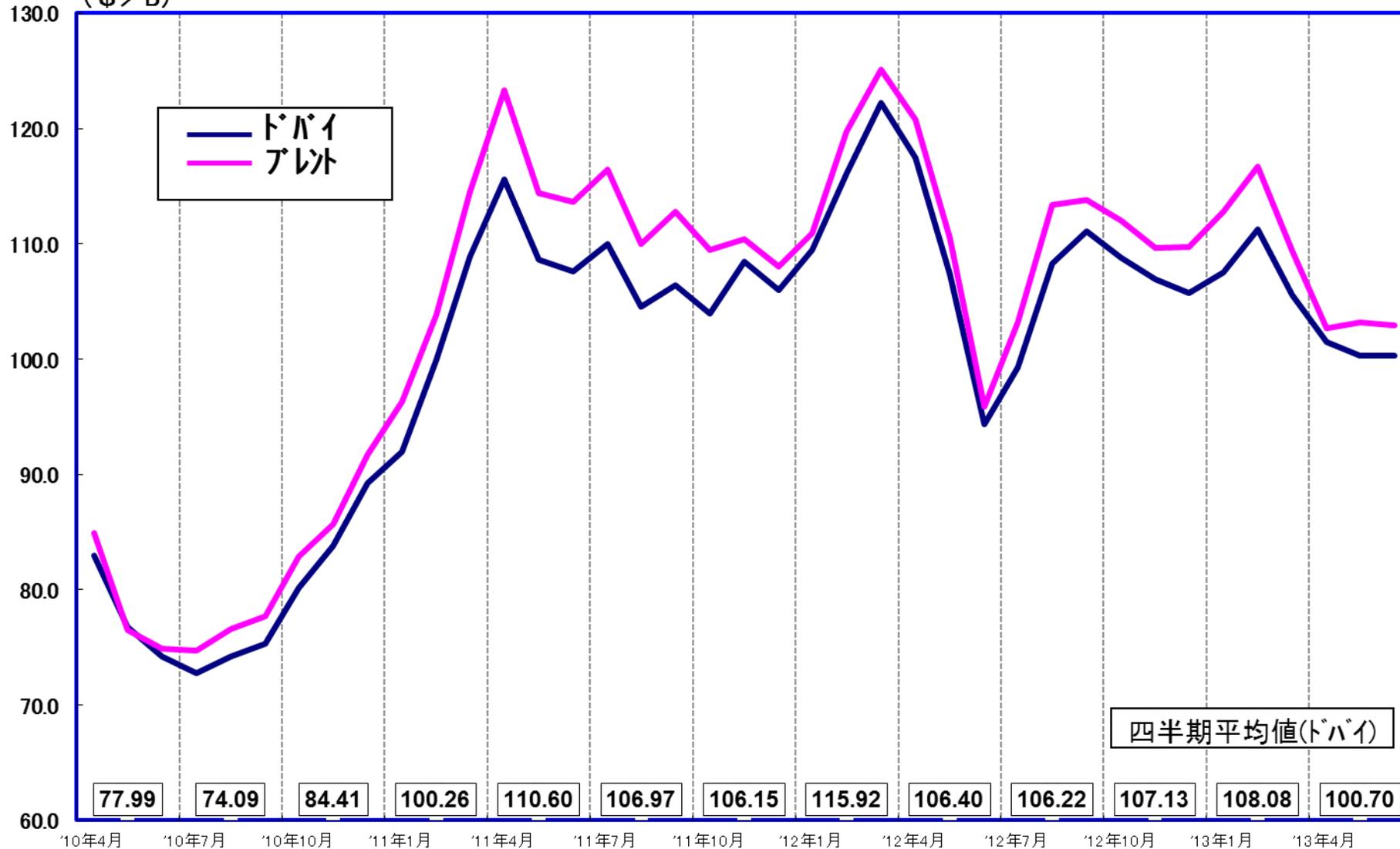
(JPY・AUD)



5. 市況

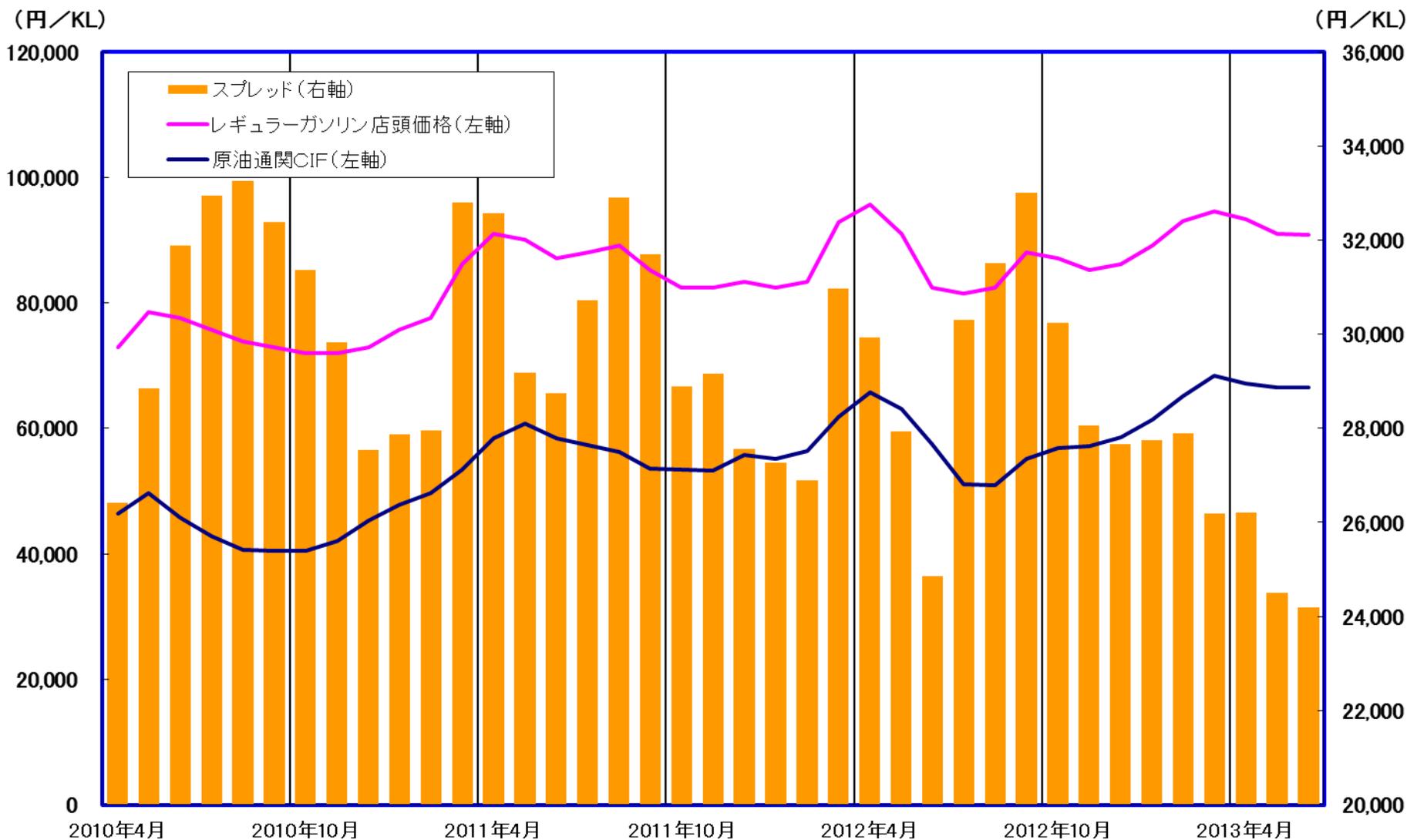
(1) 原油価格(ドバイ、ブレント)

(\$/B)



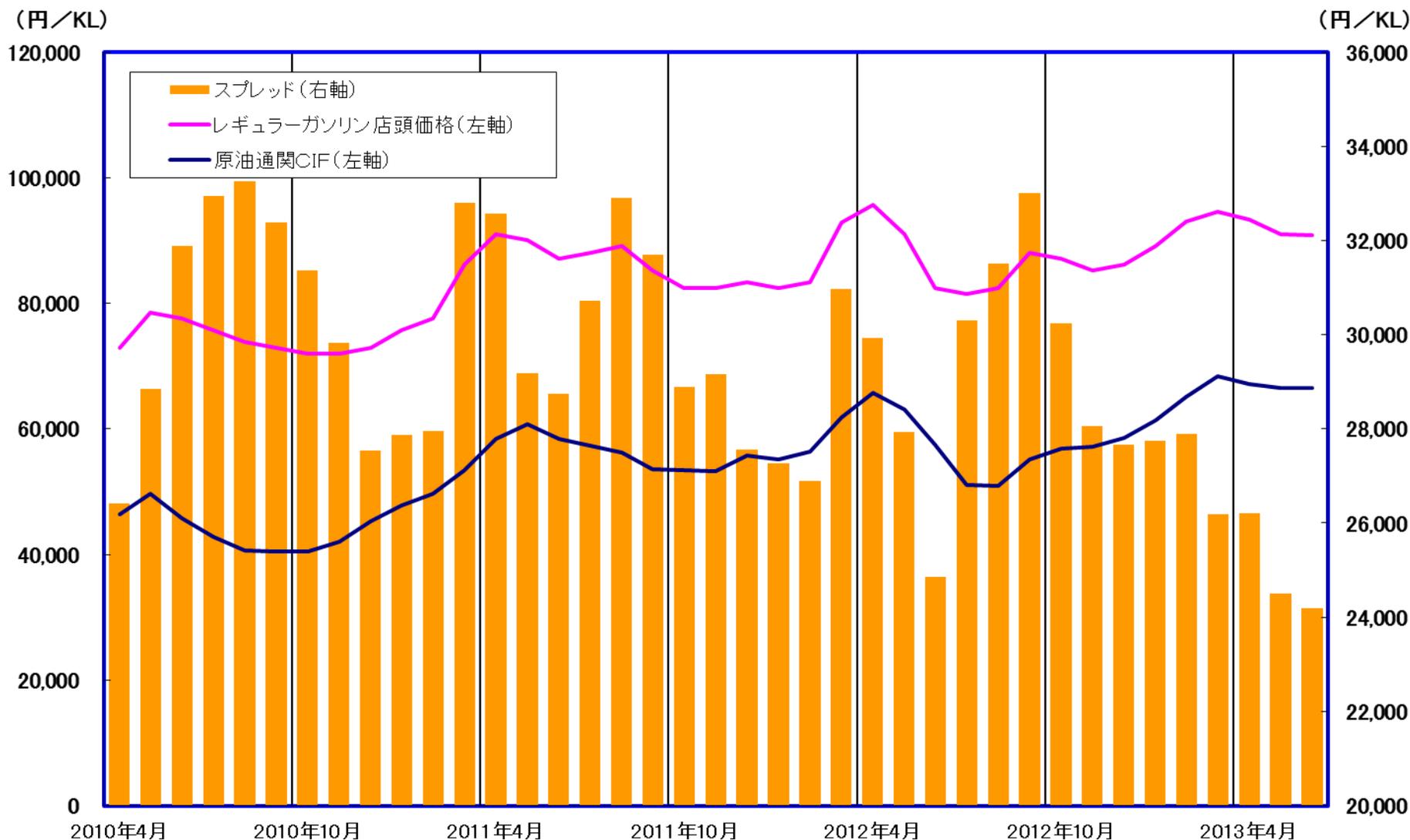
5. 市況

(2) ガソリン-原油CIF (価格推移 & スプレッド)



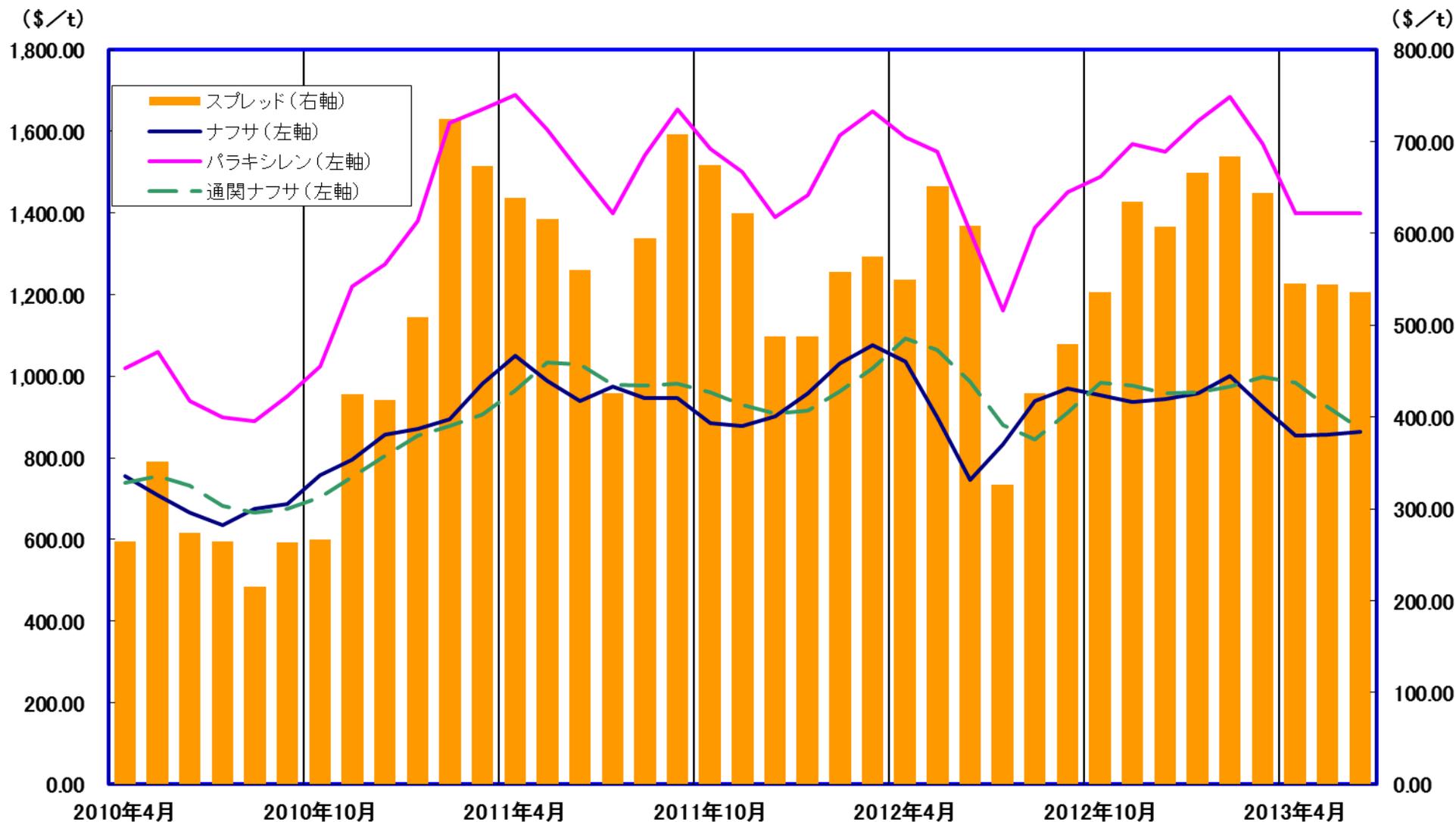
5. 市況

(3) 軽油－原油CIF (価格推移 & スプレッド)



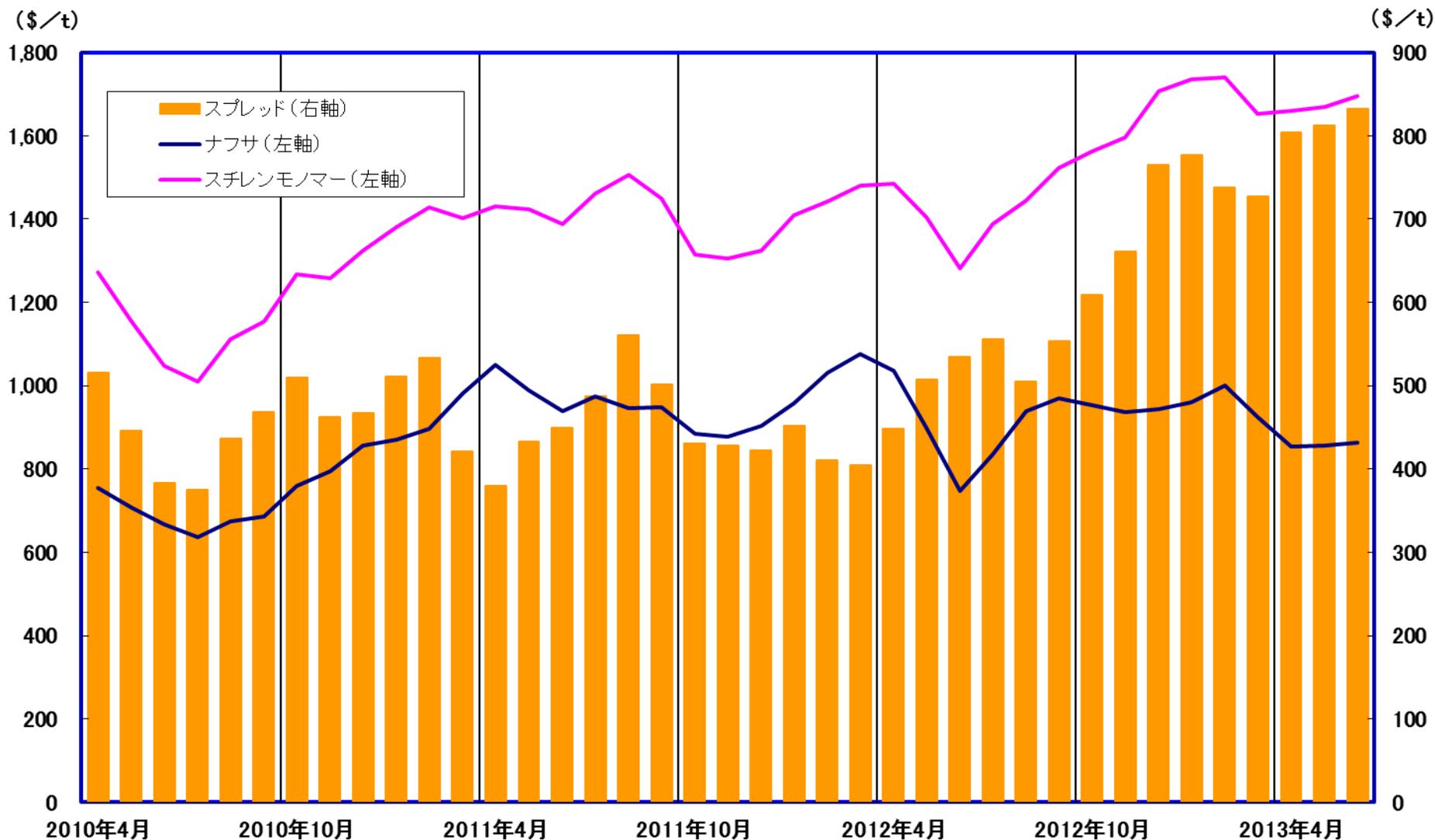
5. 市況

(4) パラキシレン-ナフサ(価格推移&スプレッド)

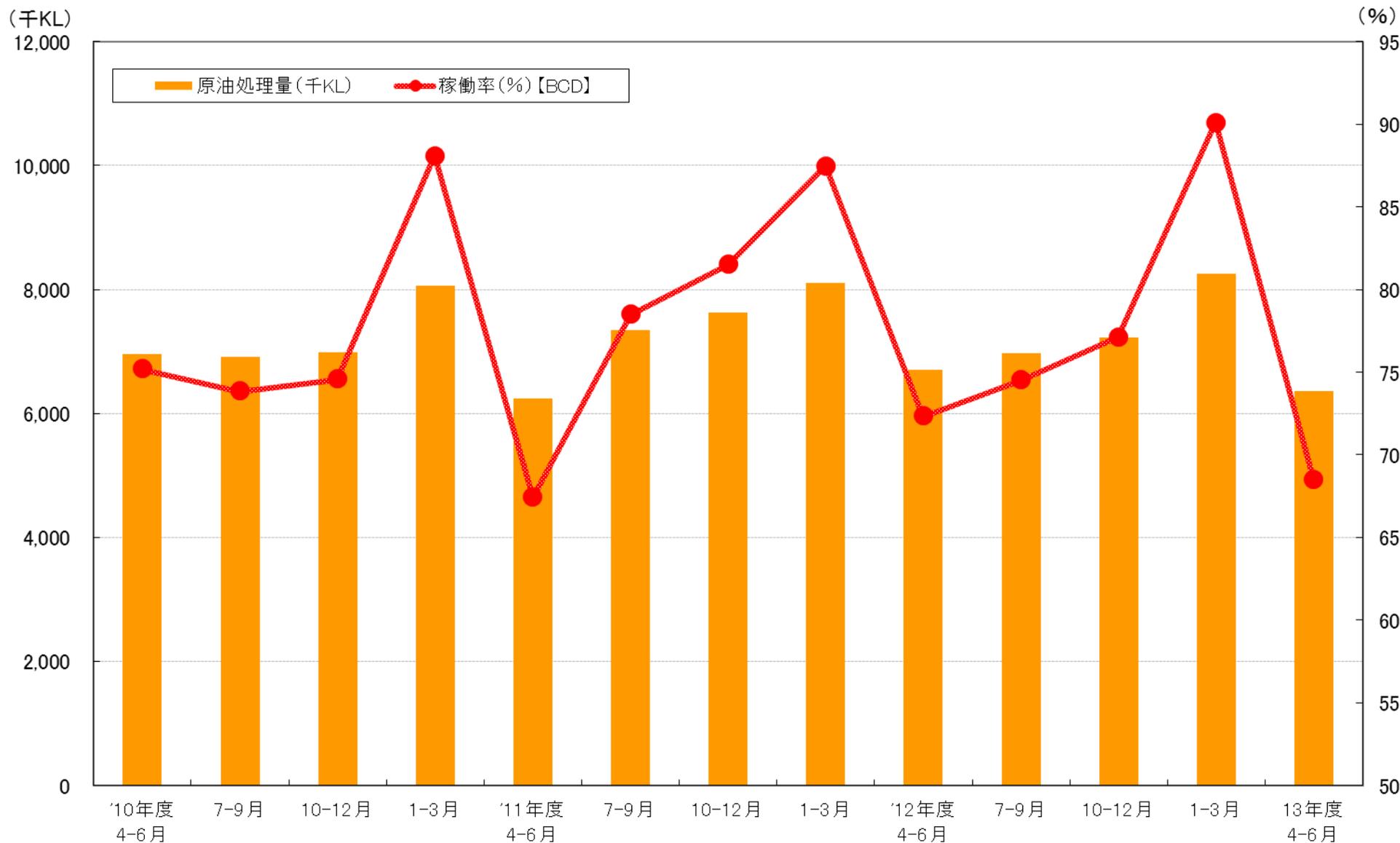


5. 市況

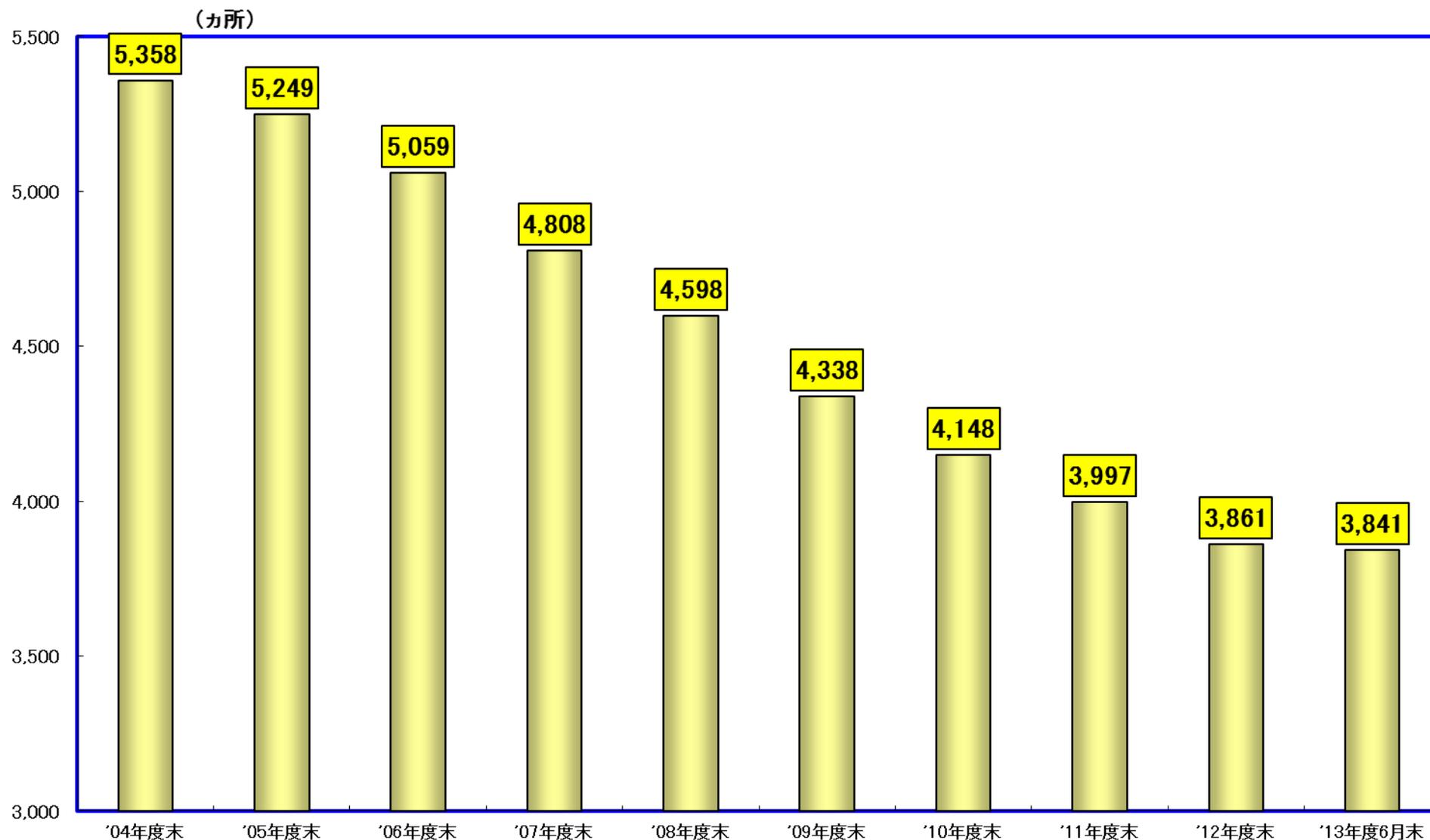
(5) スチレンモノマー-ナフサ(価格推移&スプレッド)



6. 製油所稼働の状況



7. SS数推移



本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。

出笑